

学年	単元名	児童	場所	指導者
くりの木(知的) さくら(情緒)	「買い物名人になろう」	くりの木 4名 さくら 1名	くりの木 教室	宮原 希美絵 林 佳奈 (中枝 千春)

育てたい資質・能力

○生活単元学習において育成を目指す資質・能力から本時にかかわる主な資質・能力

生活する意欲・学ぶ意欲をもち、周囲の人とつながる力。(社会参加)

研究とのかかわり

研究内容2～「一単位時間における学習過程の改善＜本時の手立ての工夫＞」

～アクティブ化シートB-②

②対話重視～買い物名人修行の様子を互に見てアドバイスやよさを伝え、社会性を育む

今までの買い物経験の中で、児童一人一人の困り感が見られたことから、買い物修行を行うことで自信をもたせ、よりよい生活経験をさせていきたいと考えた。修行をする中で、困ったときに教師や友達からアドバイスをもらったり、友達の買い物をする様子の中でよいところに気付いて伝えたりする場面を設定する。そこから、自分でできることが増えて、友達からの励ましで自信をもち、より相手とつながっていくことができると考えた。

1 単元について

(1) 単元の目標

買い物学習を通して、自分で考えたり、行動したりしながら、周囲の人とつながることができるようにする。

(2) 単元について

本単元は、生活をする中で必要になってくる自立的な生活をするための基礎能力と、人との関わり方を身に付けさせることを学習のねらいとしている。「買い物名人修行の道」の学習を通して、買い物に必要な言葉を話すこと、人とのコミュニケーションを図ること、買い物の手順を知ること、目的に合う買い物ができるようにすること、買い物をしたら代金を支払うことなどについて自分で考えて行動することで、社会生活や自立に必要な知識や技能を身に付けることができるようにする。

様々な体験から自分の課題を見つけて、解決に向けて活動の見通しがもつことができる単元にするとともに、児童の実態に合わせ、国語や算数、自立活動とも関連をはかりながら単元を構成していく。

(3) 児童の実態

個人情報保護の観点から、この項目は掲載しません。

A児	
B児	
C児	
D児	
E児	

(4) 個別の目標

個人情報保護の観点から、この項目は掲載しません。

A児	
B児	
C児	
D児	
E児	

(5) 指導の手立て

児童は、これまでに学級全員で生活単元学習に必要な材料の買い物活動を経験してきた。しかし、買い物活動の中で一人で考えて選択し、行動するという経験は少ない。そこで、「自分で考える力」を育てるために、買い物経験活動を設定した。条件付きの買い物から始めて、失敗経験から教室で行う「買い物名人修行の道」で自分の課題を解決し、学校で学んだことを生活に生かすことで、自分で必要な物を買うことができると考えた。

学級全員が買い物名人になるために、困ったときには直接聞いたり、カードを見せたりする活動を取り入れ、互いに助け合い、みんなで協力して高め合う活動ができると考えた。

2 単元の指導計画と個別の評価

(1) 単元の指導計画 【14時間扱い 本時6 / 14時間】

次	時	○学習活動	◇指導の手立て ■アクティブラーニングにつながる思考スキル
買い物に行こう その1	①	○オリエンテーション ・学習計画を立てる。「買い物名人になろう」	◇買い物経験を交流し、児童の関心を高める。 ■見付ける～単元の流れをイメージさせることで、買い物名人になりたい気持ちを高めさせる。
	②	○スーパーへ買い物に行く。 ・校外学習で行ったことのあるスーパーで、一人一人お楽しみ会のおやつを買う。	◇決められた金額で、自分のほしいおやつを買えるように声掛けをする。 ■見付ける～何を買うか自分で判断し、主体的に行動する。
	③	○スーパーでの買い物の仕方を振り返る。 ・できたこと、できなかったことについて交流する。 ・スーパーよりも大きなお店で買い物をする計画を立てる。	◇視覚でとらえやすいよう、教室掲示として残す。 ■対話する～気付いたことについて教師と児童、児童間でやりとりをする。 ◇スーパーでできたことを褒め、更に買い物名人に近づきたいという気持ちを高めさせる。 ■予想する～どんなことに気を付けたらよいのか、イメージする。
	④	○ショッピングセンターで、買い物をする。 ・決められた時間、決められた金額で、学校で使う物を自分で買う。	◇スーパーでの買い物経験を想起させ、自分で行動しようとする姿を見守る。 ■つなげる～経験したことを身近な生活につなげて活動する。
	⑤	○ショッピングセンターでの買い物の仕方を振り返る。 ・できたこと、できなかったこと、教師がなくて困ったことについて交流する。 ・個人のめあてを設定する。 ・失敗経験から、「買い物名人修行の道」の学習計画を立てる。	◇できたことを褒めると共に、できなかったことと困ったことについて、解決策を提案する声掛けをする。 ■分ける～自分の行動を振り返り、できたこととできなかったことを分類する。 ◇できるようになりたいことや気を付けることについて考えさせる。

買い物名人修行の道	⑥ 本時	○くりの木ショッピングセンターで、買い物修行をする。 ・教師が準備したお店で、買い物をする。 ・一人ずつ買い物をして、周りで見ている児童がアドバイスをしたり、気付いたことを発表したりする。	◇個人のめあてについて確認し、見通しをもたせる。 ■対話する～くりの木ショッピングセンターで教師とのやりとりをする。買い物の様子から感じ取ったことを児童間でやりとりする。
	⑦ ⑧ ⑨	○くりの木ショッピングセンター開店の計画を立てる。 ・どんなお店を開く（開いてもらう）と買い物名人になれるかを考える。 ・自分のお店を開くために、必要な物を考え、準備する。	◇買い物名人になるという意識付けと自分もお店屋さんになって活動してみたいという意欲付けをする。 ■見付ける～自分がすべきことを考え、行動する。
	⑩ ⑪	○くりの木ショッピングセンターを開く。 ・課題達成を目指して、友達のお店で買い物をする。 ・お店屋さんとして、買い手のよかったところを発表する。	◇活動のめあてを確認させ、できるようになったことや分かったことを考えさせる。 ■評価する～友達のよさや自分ができたことについて発表する。
	買い物に行こう その2	⑫	○買い物名人の腕試しをする。 ・自分たちで買い物の計画を立てよう。
⑬		○△△へ買い物に行く。 ・計画をもとに、今までの経験を活かして買い物をする。	◇困ったときの解決策が分かるよう、学んだことをまとめたヒントカードを用意する。 ◇活動を見守り、自分でできたという達成感を味わわせる。
⑭		○「買い物名人になろう」の学習について絵や文でまとめる。 ・学習で分かったことやできるようになったことについて、まとめる。	◇以前と今回の活動を比べながら、振り返らせる。 ■評価する～単元を通して学んだことについて言葉や文字で発表する。

(2) 個別の評価

個人情報保護の観点から、この項目は掲載しません。

A児	
B児	
C児	
D児	
E児	

4 本時の学習

①本時の目標

○買い物学習の中で自分で気付き、やりとりしながら、教師や友達とつながることができる。

②本時の個別目標 個人情報保護の観点から、この項目は掲載しません。

A児	
B児	
C児	
D児	
E児	

③本時の展開【14時間扱い 6／14時間目】 *一単位時間レベル【対話重視】

	子どもの活動	思考	□教師の働きかけ ◆評価
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。 「買い物名人になるために、できるようになりたいことを決めました。」 2 個人のめあてを発表する。 「困ったときに、店員さんに自分から聞けるようになりたい。」 「自分のほしい物を決めることができるようになりたい。」 「お金をきちんと払うことができるようになりたい。」 3 学習内容を知る。 「先生が作ったお店で買い物をするんだ！」	個 全体	<input type="checkbox"/> 前時までの活動を想起させ、活動への意欲をもたせる。 <input type="checkbox"/> 声に出して発表することで、できるようになりたい自分をイメージさせる。 <input type="checkbox"/> 友達のめあてを聞いて、買い物学習でアドバイスをする観点にする。 <input type="checkbox"/> お店の見せ方を工夫して、児童の「やってみたい！」という気持ちにつなげる。
くりの木ショッピングセンターで買い物修行をしよう！			

展開 30分	4 買い物の手順を想起する。 ・あいさつ「こんにちは」 ・品物を選ぶ ・お金を払う ・あいさつ「ありがとうございました。」	全体	<input type="checkbox"/> これまでの買い物学習の活動がわかる掲示物を用意しておき、必要に応じて買い物の手順を確認する。
	5 お金の種類を確認する。(本物の硬貨) ・1円, 10円, 50円, 100円 (総額500円)	個	
	6 一人ずつ買い物をする。 ・決まった金額で品物を選び、代金を支払う。 ・困ったときには、周りで見ている児童にアドバイスをもらう。 「どうやって聞いたらいいですか？」 「どうやってお金を払ったらいいですか？」 ・買い物をしている児童が困っていたり、アドバイスを求めてきたりしたときに、適切なアドバイスをする。 ～周りで見ている児童が、「助けますか？」のカードを見せる。	個 全体	*目標達成に困り感のある児童への「支援の手立て」を明らかにする。 ～一人一人の目標を教師が把握し、児童が思考し、行動できるような問いかけをする。 「いらっしやいませ」「何かお探しですか?」「これがおすすめですよ。」 ◆C児～教師の問いかけに答えようとしている。 ◆D児～周囲のアドバイスに耳を傾け、教師の顔をみようとしている。
7 一人一人の買い物で気付いたことや頑張っていたことを発表する。	全体	*児童同士がつながる手立てをとる。 ～「学級全員が買い物名人になる」というゴールに向かって意識をもたせるような声掛けをする。 *支援ツールの工夫 ～タイミングを見てアドバイスできるカードを活用する。 ◆B児～つぶやきや支援カードを使って友達を助けようとしている。	
終末 10分	8 今日の学習を振り返る。 ・「これができた!」→がんばりカードにシールを貼る。 ・「買い物修行で買い物名人に近づいた。」 9 次時の確認をする。 ・自分たちで「くりの木ショッピングセンター」を開こう。	個	<input type="checkbox"/> この時間で頑張ったことや、次時に向けて楽しみなことについて考えさせる。 <input type="checkbox"/> 自分のお店を開くことを予告し、次時の見通しや期待感をもたせる。

④本時の個別評価 個人情報保護の観点から、この項目は掲載しません。

A児	
B児	
C児	
D児	
E児	